

種 目：シーカヤック
海 域：浜坂・但馬御火浦
場 所：兵庫県
日 時：8/2
天 候：晴れ

メンバー：加藤・大塚・貴司・大本



浜坂東部の岸田川河口を出発地とする
食料や潜りの道具を積んだり夢膨らむ



洞窟探検では岩ツバメ?の歓迎を受ける

抜群の天気恵まれて浜坂東部の岸田川河口より出廷。
今回は初潜りの貴司と大本を連れていくがさてさて成果はいかほどに？。

山とは違った大自然が作り出す不思議は柱状節理や、幾年にも渡り冬の荒波によって削り取られた奥深い洞窟、その中には向こうへ貫通しているものさえある。シーカヤックならではのんびり体験で初心者貴司や大本を連れて中へ漕ぎ出す、するとどうだろう海ツバメ?、いや岩ツバメだろう、鳴き方は一緒なのでわからないが、もし海燕ならその巣は大変に貴重な高級中国料理のスープになるが、はてさて??。

ここら辺りは漁業組合がうるさいようなかなか良い上陸ポイントが見つからない、しかし漁師も入って来れない岩稜の浜?にカヤックを引き上げて上陸に成功。早速にウエットを着込んで潜るが、浅瀬にもかかわらず手の平弱のアワビが点々と・・・しかし潜り初心者貴司と大本は全くもって分からないようだった。一時間ほどで上がり早速に昼の肴でアワビの刺身を頂戴する。美味美味(^O^)

大本は船酔いをしてしまったのか相当にバテていた様子である、さあ、明日は沢登りである。



岩稜浜に上陸、成果も上々だった



浜坂東方の但馬御火浦を漕ぐ



但馬御火浦の柱状節理の絶景